

水道事業会計決算

7544万円の単年度黒字

平成20年度は、各家庭や事業所などの節水による使用水量の減少、比内・田代地域の料金算定方法を大館地域方式に統一したことなどで、昨年度より約3093万円少ない12億8870万円の収入となりました。

支出は、高利率の借入金の上償還を行うなどで、昨年度より約5229万円少ない12億1326万円となり、7544万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は、借入金の返済に充てるため積み立てます。

平成20年度の主な事業

◆水道管路近代化推進事業
安定した給水と有収率の向上を図るため、平成16～20年

災害復旧事業

平成19年9月の豪雨で災害を受けた真中簡易水道は、応急措置で給水を続けていましたが、安定した給水のため本格的な復旧工事を行いました。

配水管整備事業

未普及区域を解消するため、東台地内などの配水管布設工事を行いました。

横岩地区未普及地域解消事業

横岩地区に上水道を通すための事業を、平成17～20年度の4カ年で行いました。平成20年度は配水管布設工事を行いました。

度の5カ年で柄沢地内の老朽化した配水管の更新工事を行いました。

給水状況(上水道)

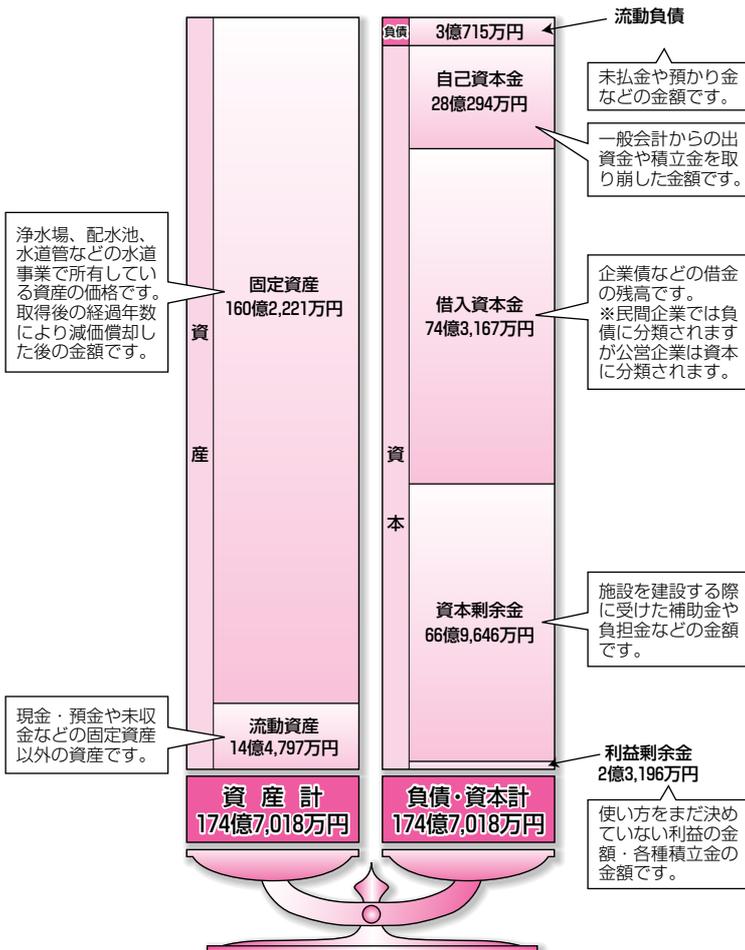
給水人口	58,609人
給水戸数	22,439戸
給水区域内普及率	88.5%
年間総配水量	6,271,407㎡
年間有収水量	5,048,020㎡
有収率	80.5%
1日最大配水量	20,731㎡
1日平均配水量	17,182㎡

給水状況(簡易水道)

給水人口	7,628人
給水戸数	2,522戸
給水区域内普及率	81.8%
年間総配水量	842,259㎡
年間有収水量	598,715㎡
有収率	71.1%
1日最大配水量	3,080㎡
1日平均配水量	2,276㎡

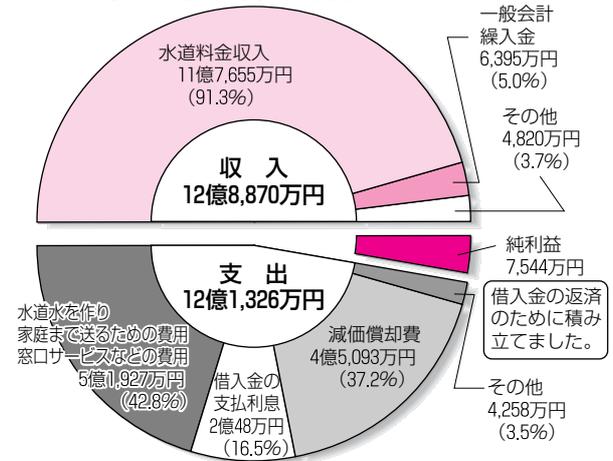
平成20年度 大館市水道事業貸借対照表

(平成21年3月31日現在)



収益的収支 (消費税抜き)

〈事業の運営に関する収支〉



資本的収支 (消費税込み)

〈施設の整備に関する収支〉

